



邑智中2年生
「人権・同和問題学習会」

【2月9日(木)】講師に、佐々木一俊さん(全日本同和会島根県連合会会長)、幸子さん(同 浜田支部)夫婦をお迎えしました。「無知や差別ってなあに?」という演題で、体験談をお話していただきました。



(感想)

* 講演会の中で、「自分の思っていることは、自分の口で言わないと伝わらない」というのが印象に残りました。

* 私は、同和問題や部落のことを最近知って、そこに生まれただけで差別されることがあるんだなと思いました。

今日の講演を聞いて、そんな差別はあってはいけないと思いました。

* 差別をなくすために、自分だけだと減らしきれないので、友達と協力していじめや差別をなくしていきたいです。



邑智中1年生
「人権・同和問題学習会」



【2月28日(火)】講師に、しまね国際センターの古曳町子さん(多文化共生推進課主任)と、デン ホン フックさん(ベトナム語相談スタッフ)をお迎えしました。「多文化共生社会に向けて私たちが取り組めること」をテーマとして講演していただきました。

(感想)

* 今日の講演会を通して、人権や多文化共生の大切さやこれからどう生活していけばいいかなど、たくさん学ぶことができました。私は、今後の学校生活や家で外国の人に会ったら、発言や行動に気を付けたいです。

* 今回の話を聞いて、私は相手のことを意識しながら、話したいと思いました。また相手によって、言葉のとらえ方が違うということを知れたので、相手の気持ちを考えたいです。

※ いろは倶楽部では、タクシー送迎ができます。詳細は、浜原隣保館にお尋ねください。

いろは
倶楽部

4月26日(水)
13:30~15:30

脳トレ

ゲーム・体操

工作・塗り絵

療育音楽



教養講座

~ちろうて気づき~

1月は、『短所を肯定的な言葉に言い換えてみる』という内容で研修しました。例えば、「あきっぽい」を肯定的な言葉にすると、「好奇心旺盛」に言い換えることができます。「わたしの短所は、あきっぽいところです。」から「あなたの長所は、好奇心旺盛なところです。」にすると、イメージが変わってきます。

短所だと思っていたことも、見方を変えれば長所になります。物事を決めつけたり、枠にはめたりせず、いろいろな見方をしていくことが大切です。



【いろは倶楽部】



【楽しいちぎり絵教室】

<講座の紹介>

今回は、「俳句教室」の紹介をします。

俳句を詠むには「五七五」「季語を入れる」という基本のルールがあります。教室では、歳時記に添って自作の俳句を提出し、全員で互選をします。選も添削されることも、作句以上に勉強になります。「四季折々に感動や喜び哀しみを、十七音で詠む」ことは、簡単ではありませんが、年齢差や経験に気兼ねなく、和気あいあいと話ができます。俳句作りを通して、季節の移ろいを感じ、楽しく一緒にまなびませんか。参加をお待ちしています。(俳句教室代表者より)

口腔体操

楽しい早口言葉



第一著者(だいいいちよしゃ) 第二著者(だいにちよしゃ)
第三著者(だいさんちよしゃ)

相談事業

人権相談、生活相談、就労相談、福祉・健康相談、教育相談など幅広く相談に応じています。

隣保館での相談内容は『外部にもれることなく、料金もかかりません』
お気軽にご相談ください。



4月の予定

26(水) いろは倶楽部

